

## 平成30年度男女共同参画審議会(第2回)

- 1 日 時：平成31年2月14日(木) 午前10分から午前11時30分まで
- 2 場 所：生駒市コミュニティセンター 2階206会議室
- 3 出席者：藤次会長、立松副会長、内橋委員、緒方委員、高田委員、田中委員、  
(欠席者：竹内委員)  
(事務局) 奥田市民部長、中田人権施策課長、  
萩本男女共同参画プラザ所長、細川男女共同参画プラザ係員
- 4 議事内容：事業案件  
(1)生駒市男女共同参画プラザの平成30年度事業の進捗状況について  
(2)生駒市男女共同参画行動計画(第3次)の見直しについて  
(3)平成31年度事業計画(案)について
- 5 その他：なし
- 6 傍聴者：なし

事務局	<p>【会議の成立報告】 竹内委員が欠席ですので、欠席委員が1名ですが、生駒市男女共同参画推進条例施行規則第12条第2項により、過半数の委員の出席があり、成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>【前回欠席の委員紹介】</p>
会長	<p>【会長挨拶】</p>
事務局	<p>【会長に議事進行依頼】生駒市男女共同参画推進条例施行規則第12条第1項</p>
会長	<p>次第に従いまして議事を進行します。</p> <p>【会議の公開の確認】</p> <p>【傍聴者の確認】</p>
事務局	<p>傍聴者なしです。</p>
会長	<p>【会議資料の公開と議事録の作成要領の確認】 1 事業案件」の(1)の「男女共同参画プラザの平成30年度事業報告の進捗状況について」の説明を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>(配布資料の確認及び男女共同参画プラザの平成30年度事業報告の進捗状況について説明)</p>
会長	<p>質問等はありませんか。</p>
委員	<p>「男女共同参画基礎講座」の参加者の内容は。</p>

事務局 やはり女性のほうが多くて、夫婦で来られた方もありました。約1/4くらいが男性でした。

委員 企画した側の意図にあっていただけですか。

事務局 もう少し男性に来て欲しかったです。

委員 来た人の詳しい内容はわかりますか。どういう人が来られたのか、どういうことを求めて来られたのか、来た人が望む内容でない場合や、主催者側が来て欲しいような人が来てくれない場合などがわかれば、次の講座の改良の材料となるのではないかと思います。

事務局 申込書やアンケートで、年齢は記載いただいておりますが、LGBTの方もありますし性別は記載していただけていないため、なかなか統計的に難しいです。

委員 いろんな工夫をして、参加者の属性というものも統計的にも情報として知りたいので協力いただきたい、とか伝えていくなどしてはどうですか。

委員 関連で、いいですか、最近「LGBT」にプラスして「Q」というのがあります。「Q」はクイア（Queer）ということです。（「Question」ではとの発言あり）※（クイア＝「変」、「奇妙」或いは「セクシャルマイノリティー」の意も）これを選択肢に加える、或いは「答えたくない」といった項目を加えるなどすれば、ストレートでいいのではないかと思います。

それから、参加者の属性がわからないから、結果が曖昧なものになってしまうのではないかと思います。私の経験でも、属性がわからないから、来る人がバラバラで、目的がわからなくて、講師の先生の豊富な知識や経験がうまくシェア出来ませんでした。

市が主催するそういう「セミナー」は属性を調べられないのでしょうか？少し検討すれば、結果がいいものになると思います。セミナーはいいものをされていると思いますが、届くべき人に届いているか追跡もできてないので、もう少しきちんとした枠組みの中でしたほうがいいのではないかと思います。

会長 ほかにありませんか。

委員 講演会のイベントですが、市内の他の会場のイベントとかと重なっているためか、参加者が少ないようです。1月26日のイベントも内容、出演者は充実しているのに参加者が少なかったようです。私も予定があって参加できませんでした。他のイベント、会場の状況等の情報は共有しているのですか。

事務局 情報はもらっていますが、調整の段階では判らないことが多く、社会教育関連の講座、施設管理委託業者の独自事業もあり、また会場や講師の確保など、中々調整できていないのが現状です。

委員 もっとたくさんの人に来てもらうには調整が必要だと思います。

事務局 この時期、イベントが多く、またインフルエンザのこともありましたので、

なかなか思うように集まらなかったのが現状です。

会 長 他にありませんか。

委 員 その他のイベントや、講座は昨年と比べると参加者が増えていますが、何か工夫されたのですか。

事務局 防災講座などは自治会の方に多く参加いただきました。広報の紙面にも大きく記載したり、チラシ等を配付するなど啓発しました。

会 長 他にないですか。  
無いようでしたら続きまして(2)生駒市男女共同参画行動計画(第3次)の見直しについて事務局から説明をお願いします。

事務局 (2)生駒市男女共同参画行動計画(第3次)の見直しについて事務局から説明)

会 長 説明いただきましたが、骨子案の提示とありますが、審議会はそれに対して意見を言うことになるのですか。

事務局 はい、ご意見をいただいて、事務局や市の各課と調整し、反映させたものを提案します。

会 長 それをまた、審議して意見を言ってという作業を繰り返して策定していくということですか。

事務局 はい。

会 長 それでは、何かご意見、ご質問などあればお願いします。

委 員 ポイントは何ですか。

事務局 市の総合計画なども前期とは変わっているので、後期は市で取り組んでいる事業なども加えて実施計画を策定したいと思っています。

委 員 最終的に「生駒市の男女共同参画」をこうしたい、それに向って実現するにはこういうことをやっていくというものを言葉で示したり、イメージしやすいフレーズなどを考えることはどうですか。

事務局 「何々を目指して」というようなものでしょうか。

会 長 言葉が硬いし、市民にはわかりにくいのではないですか。

委 員 審議委員として熱い思いなど込めて、実際、感情や心を動かすように、目指す共通の思いや取り組みなどうまくまとめればいいと思います。

事務局 基本理念は7項目になっており、まとめたものなどを次回に案を提案できればと思います。

会 長 市のトップが「男女共同参画」についてはこういうことをやりたいというものがあれば、その整合性をとって進めないといけないと思います。

事務局 市の総合計画のなかでの人権、男女共同参画の位置づけもあるので、その範囲を超えることは難しいですが、この審議会の思いを最大限反映したものになるように進めていきたいと思っています。

会 長 他にありませんか。  
無いようでしたら続きまして(3)平成31年度事業計画(案)についての説明をお願いします。

事務局 (3)平成31年度事業計画(案)についての説明)

会 長 説明が終わりましたが、何かご質問などあればお願いします。

会 長 新規事業「新しい働き方セミナー」を始めることになった切っ掛けは何ですか。

事務局 市で「就業支援」や「子育て支援」などの事業をしており、それらを合同でまとめたセミナーを考えております。

委 員 私自身、この女性の働き方に関する事業や働き方改革に関わってきまして、私のこの働き方改革についての捉え方は、収入だと思っています。生駒市のアンケートで、「二人目を産まない理由」として、経済的な理由が一番多くて、言い方を換えると「お金がないから二人目が産めない」ということになるかと思っています。これから先「少子高齢化」で、人口が減っていくのは目に見えているので地域の活性化に向けて「女の人も収入を得ましょう」など、はっきりといったほうがいいのではないかと思います。いろんなやり方があって、いろんなものを作って、イベントでモノを売ったりして、自分でこうしたら収入が得られる方法があるとかわかるのではないかと思います。  
いろんなイベント、マルシェ、ワークショップもありますが、売れていなくて、結局、売れないから収入につながらないのです。売れなくても、インターネット(YouTube)などいろんなところで収入の道があります。いろんな方法を広げていけると思うのですがみんながわかっていない、心理的な障がい、ハードルが高いと思いますが、やり過ぎるくらいがちょうどいいと思っています。生駒の女性を盛り上げていく動きに巻き込んでいきたいと思っています。

委 員 市のほうでいろんなイベントをし、人集めしてお客さんを寄せて、有名な店を呼んで、それを目当てに人が来て、その店の周りの店に人が寄ってきて、ものが売れたりもします。そういうことの種火みたいものを市役所が仕掛けてもらうといいと思います。

- 委員 それともう一つ、「学研生駒テクノエリア」は駅から離れていて、通勤するのに不便、パートさんが来ないなど、人材不足で、例えば通勤しやすくするだけで人材不足が解消し、生駒の女性の仕事も増えると思います。そこで、こういう問題を解消するため情報を集める「ハブ」のようなものがどこかにあればと思っています。
- 高齢の方など内職的な仕事ならできると、このような仕事もあるので、そこでマッチングができていません。そこをどのようにして解決していくかという、情報を集約した「ハブ」みたいなものが要ると思います。
- 事務局 商工観光課が就業支援を担当して会社と連携して取り組んでいます。男女共同参画の分野からもそういったものを活用できないかということで、「シェアリングエコノミー」を紹介するセミナーを開催しました。今後も結果につながるような事業を考えていきたいと思っています。
- 会長 他にありませんか。
- 委員 出前講座で小学校、中学校に行っ様々な講座、研修が実施されていますが、これらを受けた児童、生徒の反応はどうですか。
- 委員 子ども達も「ジェンダー」という言葉に意識が出てきています。「自分はどうなのか」と、自分に問う子もいたり、こういう講座の意義は感じています。そして、真剣に考えていかねばと思っているのは「防災と男女共同参画」だと思います。去年台風が多かったので、避難所を4回開設して2回避難者が来られました。生駒市では高齢者避難の「避難準備情報」をまず出しますが、その中に「ジェンダー」意識は、今はまだ少ないように思います。また、一つの部屋に全て入ってもらうのではなく、部屋割りも考えて「ジェンダー」にも配慮した部屋の段取り、また、高齢者にとっては2階以上にある部屋についての配慮などもこれからの学校の避難所開設、運営に求められると思います。
- 委員 「男女共同参画」と言うのは時間がかかると思います。さきほどの「LGBT」の研修、小学生に対してそういう教育が必要という流れになっていますし、防災に関しても常に子どもと地域の人関わっている地域というのは、学校が避難所になったときに学校再開がスムーズで、役割分担がうまくいくと言われていています。運営に関しても先生方が開設して運営は地域の方々に任せていくと円滑にできるといいます。日常の子どもと地域の関わりがあって、これらの結果につながっているの、学校環境というのはこれが根本かなと思います。
- 委員 今の小中学生が10年後、15年後を考えたときに、女性の校長先生がいたら、女性の校長になりたいと思うかもしれません。今年生駒で4人の女性校長が誕生しましたが、全国的にはまだ低いです。
- 会長 他にありませんか。
- 事務局 防災に関する講座は学校にも声かけして、学校の計画に入れてもらうなどを検討してもらえたらと思います。教職員研修の内容は普段は「DV」ですが今回は「LGBT」で進めていきたいと思っています。

委員 それはいいことと思います。私もゲーム方式をやったことがあります、夏休みという時期も参加しやすいと思います。

委員 奈良市内の小学校では子ども達もいれて防災研修をやっています。

委員 学校では大体4年に1回くらい大きな訓練をしています。二年前には生駒南第二小学校で大規模訓練を実施し、ヘリコプターが飛んできたりしました。これだけ災害が多くなると、子ども達も身近な問題として捉えています。去年6月の大阪北部の地震、ちょうど登校中で、子ども達には貴重な体験になったと思います。今でも記憶に焼き付いていますが、子ども達はとても素早く行動し、全員が運動場に出ました。

委員 全員登校していたのですか。

委員 半分到着していて、半分登校中でした。私が校門で挨拶しているときに子どもが声をあげました。その子たちはその場に座らせて、揺れが収まってから運動場に誘導しました。教師もすぐに教室に行ってスムーズに児童らを運動場に誘導しました。約30分間運動場におらせて、先生方が教室の安全確認をして、児童を校舎、教室に入れました。「防災意識」ということでは生の訓練ができました。今まで訓練を懸命にする者が90%程度でしたが、今回97%を超えました。やはり真剣度が増して、事故、ケガがなくて何よりでしたが、こういった生の体験したことは今後非常に役立つことだと思いました。

会長 その他何かありませんか。  
無いようでしたら、事務局から何かありますか。

事務局 会議録につきましては後日送付させていただきますので、ご確認よろしくお願います。  
それではこれもちまして、終了させていただきます。